

WS
2

国際秩序の変動を歴史から読み解く

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに18,530円 聴講生20,080円

【政治・経済・社会】国際関係 ワークショップ 【時間】毎回 15時00分～17時00分（計12回）

概要

現代の世界では、トランプ政権に限らず、多くの国で右派ポピュリストの政権が成立し、自由民主主義の政治体制の正当性や有効性が根本から問われる状況にある。近代の政治や経済とは何だったのか、どのような問題を抱え、解決できなかったのか。歴史分析を読み解くことで、現在と未来を見通す視点の獲得を目指す。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/ 7(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	第1次世界大戦と戦間期の国際構造を検討する。	成蹊大学教授 遠藤 誠治
2	4/14(月)		西欧諸国による帝国支配の終焉を検討する。	
3	4/21(月)		冷戦期の国際構造を検討する。	
4	5/12(月)		高度経済成長と民主主義の安定期の構想を検討する。	
5	5/19(月)		第2次世界大戦後の文化変容を検討する。	
6	5/26(月)		第3世界からの秩序変更の要求を検討する。	
7	6/ 2(月)		社会主義の変容と崩壊を検討する。	
8	6/16(月)		20世紀の文化と芸術の変容を検討する。	
9	6/23(月)		冷戦後の自由主義の拡大について検討する。	
10	6/30(月)		グローバル化による国際秩序の変容と混乱を検討する。	
11	7/ 7(月)		非西洋世界からの国際秩序への挑戦を検討する。	
12	7/14(月)		アメリカ中心の国際秩序の終焉を検討する。	

連絡
事項

エリック・ホブズボーム『20世紀の歴史』（上）・（下）ちくま学芸文庫、『破断の時代』慶應義塾大学出版会などを読み進めます。